

令和8年度「総合的な探究の時間」全体計画 及び
 令和8年度入学生における「総合的な探究の時間」全体計画

※学校名	※総合的な探究の時間の名称
徳島県立城東高等学校	城東・グローバル・クエスト (※通称:「クエスト」)

① 必須の要件として示すもの

※各学校において定める目標	
<p>探究の見方・考え方を働かせ、現代社会の諸課題に関する横断的・総合的な学習を通して、他者や地域と協働しながら主体的・創造的に思考・行動できる資質・能力を養い、自らのキャリア形成の中でグローバルな視野を持って未来を志向し、地域のために行動できる「グローバル人材」に必要な力を育成する。</p>	
<p>(1) 知識及び技能 「現代社会の諸課題について知る」</p> <p>現代社会の諸課題について知ることで、世界の中の日本を意識し多様な価値観への理解を深めるとともに、日々の授業における主体的・対話的で深い学びをとおして取得した知識や技能について、探究的な学びの中で統合し一般化することにより、既存の問題や課題解決のための汎用的な情報収集や整理・分析の手法を身につける。</p>	
<p>(2) 思考力、判断力、表現力等 「現代社会の諸課題と自己との関わりについて考える」</p> <p>現代社会の諸課題と自己との関わりについて深く考えながら、「課題発見→調査→分析→新たな課題の発見」という探究のサイクルを繰り返すとともに、探究したことを論理的かつわかりやすく表現するために試行錯誤することで、既存の問題や社会課題の解決のために、自ら課題を発見・設定し、解が一つに定まらない問題に対しても果敢に挑戦する思考力を身につける。</p>	
<p>(3) 学びに向かう力、人間性等 「生涯にわたり学び続ける意欲を持つ」</p> <p>他者や社会と協働し、「Think globally, act locally.」の視点で主体的に課題解決に取り組むことで、社会参画への意欲を醸成するとともに、自らの生き方や在り方との関わりを意識しながら、理想の社会を実現するために生涯にわたり学び続ける意欲を身につける。</p>	

※各学校において定める内容					
目標を実現するにふさわしい探究課題		探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力			
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
科	1年	現代社会の世界が抱える諸課題 ●社会を知る ●探究の手法を学ぶ	社会における課題が何であるかを知り、世界に視野を広げることができるようにする。	「課題発見→調査→分析→新たな課題の発見」という探究のサイクルをとおして、探究的な学びに必要な思考方法を身につける。	他者や社会と協働して取り組むことで、社会参画への意欲と姿勢を持つ。
	2年	現代社会の諸課題をふまえた身近な社会課題(1) ●関わりを考える ●果敢に挑戦する	各教科での主体的・対話的な学びを通して培った知識・技能を土台とし、自ら収集した情報を多角的に比較・分類することで、解決すべき課題を発見・設定することができるようにする。	現代社会の諸課題と自己との関わりについて深く考えながら、解が一つに定まらない問題に対しても果敢に挑戦する思考力を身につける。	「Think globally, act locally.」の視点で、自らの生き方や在り方との関わりを意識した主体的な課題解決を行う姿勢を持つ。
	3年	現代社会の諸課題をふまえた身近な社会課題(2) ●学び続ける	各教科での主体的・対話的な学びを通して培った知識・技能を土台とし、課題解決のために収集した情報を統計的に整理したり、複数の情報の因果関係や背景を捉えて分析したりすることができるようにする。	現代社会の諸課題と自己との関わりについて深く考えながら、論理的かつわかりやすく表現する方法を身につける。	「Think globally, act locally.」の視点で、理想の社会を実現するために生涯にわたり学び続ける意欲を養う。

② 基本的な内容や要件を包括的に示すもの

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
「探究の手法」「企業が抱える社会課題」「課題研究」「プレゼンテーションの技術」等に取り組む。また有識者による講演会を適宜実施する。	探究的な学びの手法を身につけながら、グローバルな視点を持ったキャリア観の育成に重点を置く。	学級単位で、個人またはグループで探究活動を行い、担任・副担任とも関わることを基盤とする。また、指導内容に応じて、テーマ別に分かれて行う。	探究を深めるために、担当教員や外部講師、生徒間によるルーブリック評価を行う。また、生徒個人が身につけた資質・能力については、自己評価や担当教員による文書評価を行う。